アメリカ留学体験記

ハワイ大学ヒロ校(交換留学)

教育学部教育学科４年　平尾果乃子

留学先　アメリカ
ハワイ大学ヒロ校

期間　2013 年 1 月～12 月

動機　世界の人と関わるような仕事に就きたかったから。

写真左が著者。

お金

・費用≫　航空券往復：約20万円、海外保険：約10万円、寮費：約40万円（全学期）、家賃：約15万円（夏休み期間）、その他生活費：約70万円
・　　合計約150万円
・レート≫1ドル＝100円前後

≪一週間のスケジュール≫

	月	火	水	木	金	土・日
AM	海洋学	海洋学（実技）	海洋学	全休	海洋学	買い物 宿題 友達とビーチ等
PM	音楽学 言語学 ハワイ語	自習	音楽学 言語学 ハワイ語	大学のジムでフラダンス	音楽学 言語学 パーティ	

≪留学前後のスケジュール≫

	留学前	留学中	留学後
スケジュール	2012 年 6 月　交換留学申請 4，5，6，7 月　TOEIC 受験 6 月　交換留学面接 2012 年 12 月　アルバイト、授業登録等準備 1 月　出発		2013 年 12 月　帰国 3 月　TOEIC 受験 12 月　就活スタート 8 月　内定

1. 留学するまでの話

私は、教育学部 5 年目 4 年生の平尾果乃子です。ここでは、私が大学 4 年生の時に経験したハワイ島での留学生活についてお話します。さて、留学中の話をする前に、留学前に私がどんなきっかけで留学をしたいと思ったのか、留学するためにどんな準備をしてきたのか、お金の話も含めて、お話します。

留学をしたいな～となんとなく思い始めたのは、小さい頃です。両親の旅行好きに影響されて、海外をとても身近に感じていたことが大きかったのかなと思います。ぼんやりとしたその思いが、目標になったのは、高校生の時です。ある、テレビ番組で発展途上国の子どもを取り上げたドキュメンタリーをやっていて、それに衝撃を受けたことをきっかけに、国際機関で働きたいと考えるようになりました。そのために、留学して自分の常識や価値観をもっと柔軟にしたい！と思うようになりました。学費の安い国立大学で交換留学をすれば、その分安く海外に行けるし、何より海外の協定校が多いという、そんな理由で北大も選びました。

北大にぎりぎりで合格できたものの、いざ大学生活が始まると、時間は無いし、お金は無いしで留学する目標も後回しでした。でも、３年生になって、就職活動が始まろうとした時、大学生活を振り返って、あれ？なんで北大に入ったんだっけ？大学生活で何か自分がやりきったことは何かあったのだろうか？と考えた時、留学したいという思いが再び戻ってきたんです。

留学を決断したのが２０１１年１２月。そこからＴＯＥＦＬの勉強を始めました。交換留学の締め切りは 6 月末で、ハワイ大学の入学条件はＴＯEFL61 点以上。英語が苦手だった私は、4 月から４回にわたってテストを受け続けました。そして、大学のＴＯEFL 講座（２万円）も受けました。しかし、点数が取れない。(講座は良かったが、値段ほど点数は上がらなかったです。１冊参考書を決めてひたすら解く方が私には良かったです)。

締め切りが迫ったところで、国際本部の人にお願いしました。どうしても行きたい！絶対に点数は取るから待ってほしい！と。ありがたいことに待っていただき、その後６４点を取得し、留学が決まりました。それからは出発まであまり時間もなく、アルバイトをしながら、ビザの取得とか、海外保険の加入とか、パソコンを買ったりとか、入学の準備の為に英語のメールに悪戦苦闘したり等などしながら過ごしていました。

＜メモ＞

・ビザの発行にはお金も時間もかかるので、早めをおすすめします。

・海外で使うカードは、りそな銀行のＶＩＳAデビットカードとＪＡＬのクレジットカードを持って行きました。現地ではりそなのカードを使っていました。便利です。

・ハワイ大学での寮費は分割でしたが、出発前に一部払わなくてはいけなかったり、保険とか、ビザとか、航空券とか、留学は出発前が一番お金がかかるんじゃないかってくらいかかります。私はアルバイトと北大からの奨学金（給付２５万円）でまかないました。

2. 遂に、出発！

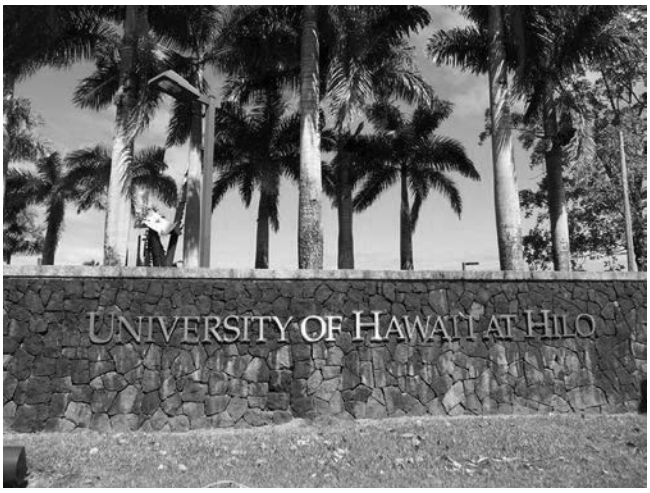
出発の日は、なんと１月１日の朝。朝５時におせちを口に詰め込み、新千歳空港へ。乗り継ぎの方が安くて、なぜかハワイに行くのに、正月早々、韓国の仁川空港に。そこから、ホノルル空港に向かいました。そして乗り継ぎでヒロ空港にやっとの思いで着いたのが１月１日の１０時。乗り継ぎのせいで、出発からすでに３６時間も経過していましたが、なぜか出発してからほとんど時間が経っていないという時差の素晴らしさを感じながら、大学のお世話係が迎えに来てくれた車に乗って、大学に到着です。

3. 寮生活

新生活の住まいは、大学の中にある寮の２階。ワンルームに２人で、洗面所を挟んで向こう側にもう２人いるという感じでした。なので、トイレとシャワーは４人でシェアです。私のルームメイトは、初めは（初めは！です）フィンランド人の女の子でした。部屋の向こうはアメリカ人２人。そしてこの日から、クレイジーな毎日が始まります。学校が始まって何週間か経った頃、お隣さんにわらわらと友人が集まるようになり、私のルームメイトもよく隣の部屋に遊びに行っていました。最初は気にも留めていませんでしたが、日に日に彼らはヒートアップしていきました。耳がちぎれるような大爆音で音楽を流し、犬を連れこみ、男の子はあっちをうろうろ、こっちをうろうろ、友人たちでシャワーを占領。セキュリティーに見つかっては、繰り返す。私は我慢できていましたが、お隣のアメリカ人の１人が我慢できなくなり、私のルームメイトと部屋を交換してほしいと言い始め、１カ月も経たずに、私のルームメイトはアメリカ人の女の子になりました。しかし、洗面所で繋がっている２つの部屋を交換したところで、爆音と悪臭は変わらず、そのルームメイトは別の部屋に移る事になり、２カ月も経たないうちに、２人部屋が１人部屋に。少しさみしかったですが、快適は快適でした。でも隣のどんちゃん騒ぎにはさすがにまいって、元ルームメイトに注意したり、態度で示したりはしていましたが、後は気にしないようにしておりました。

＜メモ＞

・寮はシェアの事が多いですが、やっぱり最初に決まりごとを作ったほうが、快適に過ごせそうです。特にアパート型の寮は、洗い物や、掃除等、誰がいつやるのかはっきりさせておいた方が良かったです。冷蔵庫の中の配分とかも。春学期は、食事は大学の食堂でビュッフェがついていたので、キッチン無しでしたが、秋学期はアパートメントタイプの寮に移ったので、そうした決まりごとがいかに大事か思い知らされます。



ハワイ大学ヒロ校のエントランス

寮からの眺め（秋学期の寮です）

4. 新しい友だち！

　春学期、多くの海外留学生とこんにちはをしましたが、同じ学期に入った日本人は、私だけでした。韓国人は１０人以上いましたが。日本人のいないところがいいと思ってヒロ校に来たわけで、この展開はすごくラッキーでした。最初は、留学生だけのオリエンテーションがあり、私はルームメイトの友人（フィンランド人）と一緒にいたのですが。聞き取れない。英語が。早口だし、なまりもあるしで、コミュニケーションどころではない。私も英語が話せなくて、あきらかにその子たちも困っていました。留学開始数日で心をポッキリ折られ、友だちってどうやって作るんだっけ？とか小学生みたいな気持ちになっていた時に、話しかけてくれたのが韓国人の女の子たちでした。「アニョハセヨー」。韓国語です。急に私に向かって韓国語を話しかけ、完全にきょとんとしていた私の顔を見て驚いたように、「韓国人じゃないの？！」と聞かれたのが、これから４か月間付き合うことにな

る韓国人たちとの出会いでした。韓国人の子たちの英語のレベルは色々で、ペラペラの子もいれば、全く話せない子もいましたが、みんな私の英語を一生懸命聞いてくれようとしてくれました。韓国人はお世話好きです。そんなこんなで、その韓国人が知り合ったハワイ在住の友人を紹介してもらったことをきっかけに、大学を歩けば知り合いに会うという生活が始まったのです。特に、アメリカ人の男の子とハワイアンの男の子たちと仲良くしてもらって、毎週金曜日はその子の家でパーティをして、そこでも新しい友だちを作る事ができました。春学期は日本人のグループとは関わらないようにしていました。英語がどれだけ上達したのか分からなかったのですが、そこでの生活が３カ月位経った頃、カフェテリアで韓国人の友人と夕食をとっている時に、ふと、くだらないことで爆笑したんです。日本にいる時みたいに、冗談をいったり、馬鹿なことを話したりして、涙が出るほど笑って、初めて英語で自分らしさを表現出来たと思うことができた瞬間があって、その時に、日本と同じように海外で生活している自分に気付きました。

＜メモ＞

・やっぱり初めは日本語に頼らない方がいいかなと思います。分からないことだらけのことを、英語だけでやっていくのは大変ですが、その分できたときの達成感もありますし、人と関わる時間も長くなるので、英語の上達も早いと思います。

・日本のドラマやアニメやジャニーズが好きな外国人は多いです。のだめカンタービレとか、ポケモンとか、その話題で盛り上がったりするので、そういうのも知っていると友だちになるきっかけになるかも。

韓国人のみんなとヒロの街を散策

春学期で帰国の韓国人とダイアモンドヘッドに

5.授業と休日

ハワイに到着して数日後に、英語のクラス分けテストがあって、リスニングやらライティングやらを一通り受けました。その後は、留学生の為の英語のクラスをとって、そこで英語の勉強をしました。ヒロ校は大学生の数が少なく、先生との距離も近くて、私のクラスも５人前後しかおらず、質問し放題でした。春学期は、秋に専門的な授業をとるために、英語のクラスを３つ取って、あとはハワイ語のクラスと民族学をとっていました。民族学は学期末に２５ページの論文を書かなくてはいけなくて、私は日系アメリカ人について書いたのですが、学生にインタビューしたり、英語で録音されたデータを文字起こししたりと、本当に大変でした。どの授業も大変でしたが、先生たちは、特別何かをしてくれるわけではありませんが、こっちから質問しに行く分には、大いに歓迎してくれて、とても助かりました。

休日の話しですが、田舎であるヒロには特に何もなく、どっか行くにしても車が必要です。そこで、大学が、毎週、さまざまなレクレーションを用意してくれていて、事前に予約すれば、無料でハワイ島の色々な場所に連れていってくれました。私はそれを利用して、ビーチに行ったり、火山にハイキングに行ったり、マウナケアという標高がすごく高い山に登って星空を眺めたりと、ハワイ島の大自然を思いっきり楽しんでいました。

＜メモ＞

・授業は沢山取った方がいいです。パンクはしますが、勉強にも、友だち作りにもなります。

・分からないことは、自分の行動無くしては解決しませんでした。常に自分から行動し、人を頼るということの大切さを知りました。

ハワイにも雪が降ります。マウナケアの初雪！

火山の上をハイキング。煙もモクモクです。

6. ３ヶ月間の夏休み

私は、もともと半年だった留学を、頼んで１年にしてもらったので、３カ月の夏休みというものが存在していました。大学の寮は夏休み中追い出されるということだったので、それならと、島を変え、自分でアパートを借りて住むことに決めました。ハワイ島から、飛行機で３０分ほどのオアフ島へ行くことにし、誰もが知っている、あのホノルルから徒歩３０分程度の場所にアパートを借りました。家賃第一で考えたため、シェアハウスに住むことに。１つの家をみんなでシェアということです。家賃は月約５万円。部屋は３人でシェアでした。アパートはネットで探しました。ルームメイトは、日本人でしたが、アメリカ人と結婚をするため、１週間後に出て行きました。その後は、日本人の女の子や、黒人の女の子とかが入れ替わったりしていました。

オアフ島には、ハワイ大学マノア校があって、そこで無料の英語のクラスを受けることにしました。そこで、友だちもできて、毎日のようにビーチにいって遊んでいました。あ

とは、フラダンス大会のボランティアなんかもしたりして、そこでも色んな職業の人に会って、良い経験だったなあと思います。シェアハウスには、お父さん、お母さん世代の人も暮らしていて、アメリカ人のおじさんにはドライブに連れて行ってもらったり、メキシコ人のおばさまには、メキシコ料理を作ってもらったりして、仲良くしてもらっていました。が！このアメリカ人のおじさんが、のちに管理人に追い出され、あんな人と遊んでたなんて。とちょっと怖くなったり。なにはともあれ、自由に日本食を作り、ビーチで遊んで、買い物もするという夏休みらしい夏休みを過ごしたわけです。

英語クラスの先生とピザパーティ☆

オアフ島のビーチを制覇するため毎日ビーチへ

＜メモ＞

・アパートは、ネットで探したのですが、詐欺もすっごい多いので、契約の際は慎重に！できれば英語のできる人に手伝ってもらった方がいいと思います。あと、アパートに入ったら、部屋の汚れとか破損とかしっかり見て、出来れば写真とって、管理人に最初に言っておくこと！後でいっても、負けます。私のルームメイトはデポジット（家賃の他に払うお金で、何もなければ部屋を出る時に返してもらえます)。ごっそり持っていかれました。

・英語のクラスやフラのボランティアは全部ネットで見つけたものです。何かやりたいと

思ったら、ネットで探し挑戦してみるというのが良いのかなーと。

7. 秋学期再開!友人との再会！

ハワイ島に戻った当日の夜は、ハワイアンの友人に誘われたバーベキューパーティーから始まりました。学校の始まるまでの１週間は、このハワイアンの友人たちと毎日のようにバーベキューでした。ただいま！ヒロ！ヒロは田舎過ぎてやる事がないので、基本的に誰かの家でバーベキューかパーティか。とにかく集まって飲む。それだけです。

さて、秋学期は、専門の授業をとることに決め、海洋学やら、言語学やら、留学生の選ばなさそうな授業を積極的に取りました。結果、クラスには日本人がいない。素晴らしい！作戦通りだ！と思いましたが、あとあとになって数人いたことを知りました。特におもしろかった授業は、海洋学です。週３日教室で海洋学の講義を受け、週１日はハワイ島の海に行って潜るというなんともハワイらしい授業でした。しかし、何十もの魚の名前、藻の名前、ナマコやヒトデの名前から始まり、光合成の仕組み、クラゲがどの様に生まれるか、海洋生物の各器官の名称等など、とにかく単語は難しいし、内容は専門的だし、テストは毎週あるしで、てんやわんやでした。

ただ、負けず嫌いの性格が作用して、周りの学生に負けたくないという思いで、放課後は友人と勉強タイムの毎日でした。そうした努力も実って、テストで毎回高い点数を取っていたら、周りがざわつき始めました。この子、英語話せないのに、いきなりどうした？みたいな顔で見てきて、徐々に、周りが勝手に「ヘイ！カノコ!今日は何点だった？！ぼくは何点だと思う？」みたいな感じで点数を競い始め、授業中に分からないところを私に聞いてきたりして。話す方はいまいちだったので、上手く答えられなかったけど、それが話しのきっかけになったりしました。

言語学でも試験で毎回上位だったので、話したことのない子たちにノート見せて！とかここ教えて！とか言われたりして。そんなことがすごく嬉しくて、頑張って良かったなとすごく思いました。日本人ってだけで、少し下に見られると感じたこともあったけど、自分も出来るんだよってことを相手に分かってもらえれば、そんなことは関係なくなってしまうのだなと感じた瞬間です。

秋学期は、今でも親友のハワイ在住の韓国人の子とハワイアンの子と夜ごはんを一緒に作ったり、映画を見たり、パーティしたり、いつも一緒にいました。いっつも噂話や、恋愛の話をしたり、こんなにも言語や人種の壁を越えて、一生の友人ができたことが１番大きな収穫でした。

そういえば、新しい寮は、アパートタイプで４人でのシェアでした。私のルームメイトはアメリカ人で、隣の部屋には東ティモールとミクロネシアの子でした。ルームメイトが来たその日、素晴らしい再会を果たすことになります。そのルームメイトが彼氏を連れてきたんですが、まあ、この時点で嫌な予感はしたんですが、その彼氏、春学期の時、どんちゃん騒いでいたあの集団の１人でした。そうか。そういう運命か。とあきらめて、新し

い生活を始めたわけです。そして、学期の終わりまで、なぜか私とルームメイトとルームメイトの彼氏が同じ空間で生活をすることになりました。２人ともとてもいい人たちでしたが、大量に料理をする割に、食器はそのまま、人の食材を勝手に使う、ということもあって、最初にルールを決めることが大切だと悟ったわけです。でも、隣の部屋の子たちも優しくて、ルームメイトも普段はフレンドリーだったので、あまり気にすることなく穏やかに暮らせました。

＜メモ＞

・授業は、その国ならではのものを取ると、専門性も高いし、環境も整っているし、良かったです。単位交換ももちろん大切ですが、今まで勉強したことのないことを勉強することも、世界が広がります。

移動遊園地にみんなで遊びに！怖かった。。。

ハロウィンパーティー☆

パーティは毎回大人数で、友人作りの場です！

今も仲よしの Song-i と。一生の友だちです。

8.おまけ

　ほんとうはもっと伝えたいこと沢山あるのですが、とりわけ必要かなと思うことをまとめます。

・携帯電話：iphone を持って行きましたが、通話できないので、現地でプリペイド式の携帯買いました。本体は６０００円くらいで、毎月お金を支払います。月５０００円払ってスマートフォン使っていました。周りの子と連絡できるし、ラインもフェイスブックもメールもマップも使いたい放題で持っていて本当に助かりました。

・移動手段：基本は、遠出は友人の車、近場はバス。あとは、タクシーは学割があって、買い物は１ドルとかで行けたのでよく使っていました。後は、自転車を買いました（すぐ盗まれた)。

・旅行：スプリングブレイクという春休みがあって、私は韓国人の女の子と２人で、ハワイ島の反対側にバスだけで旅行に行きました。途中、バスが無くなったり、韓国人とけん

かしたり、トラブル続きでしたが楽しかったと思います。
・お金のこと：留学中の生活費は、日本学生支援機構から月に１２万円借りていました。ひと月は、寮費が５万円、携帯代が５千円、食費は３～５万円でした。食事は自炊がやっぱり安いです。
・健康：カゼも引かず、病気にもなりませんでしたが、唯一ハワイ島は火山灰の影響で喉がやられます。

9.おわりに

拙い文章で申し訳ありませんが、最後まで読んで頂きありがとうございました。留学をして何より良かったことは、人との出会いです。世界中からきた、色々なバックグラウンドを持った、年齢も違う、考え方も違う人と出会い、つながりを持てたことは、一生の財産だと思います。そして、何事も無理だとあきらめる前に挑戦してみる、好奇心を持ってやってみる、という行動力が身についたように思います。帰国して、もっと色んなことに挑戦したかったのですが、卒業も近く時間はあまり残されていません。ですので、今留学に迷っている人がいれば、是非“今”一歩を踏み出してほしいです。みなさんの留学生活がより充実した最高のものになるように願っています。

《留学アンケート》

① おすすめ

- Two ladies kitchen のイチゴ大福、 suisan のポケボウル（マグロ漬け丼)、テックスドライブインのマラサダ、ジャンバジュース、ヨーグルトランド、
- マウナケアのサンセットと星空、キラウエア火山、ハプナビーチ。オアフ島はレナーズのマラサダ、カフェカイラのパンケーキ、カイルアビーチ、アラモアナビーチ。

② マナーやタブー

・特に気になる事は無かったですが、何かに誘われたとき、しっかりとイエスかノーを答えることが、必要です。曖昧に答えると、あとあとになって、え？それってイエスってことじゃなかったの？っていうトラブルになりかねません。

③ 持っていってよかったもの

- パソコン（課題、調べ物、家族とのスカイプ等）、iphone（なんだかんだ写真を撮ったり、wifi があれば外でネットも使えたので。)、デジカメ（やっぱり画像が綺麗でした。）
- 歯ブラシ（向こうのは、なんだこれってくらい大きい。）
- インスタントみそ汁（お湯さえあれば日本を味わえるし、日本食は基本的に高いので、のりとかふりかけかも持っていきました。）
- 恋愛話（世界共通で盛り上がる。）
- 日本料理が作れること（料理パーティは絶対ある。たこやき、おこのみやき大人気です。）

④　留学前の必見本　or　ウェブサイト

・英語の勉強には、友人に勧めてもらったＴＥＤを見ていました。あとは、この北大の留学体験記はためになります。あとは、留学先の大学のホームページを読みあさって、どんなサービスがあるのかを事前に調べていきました！